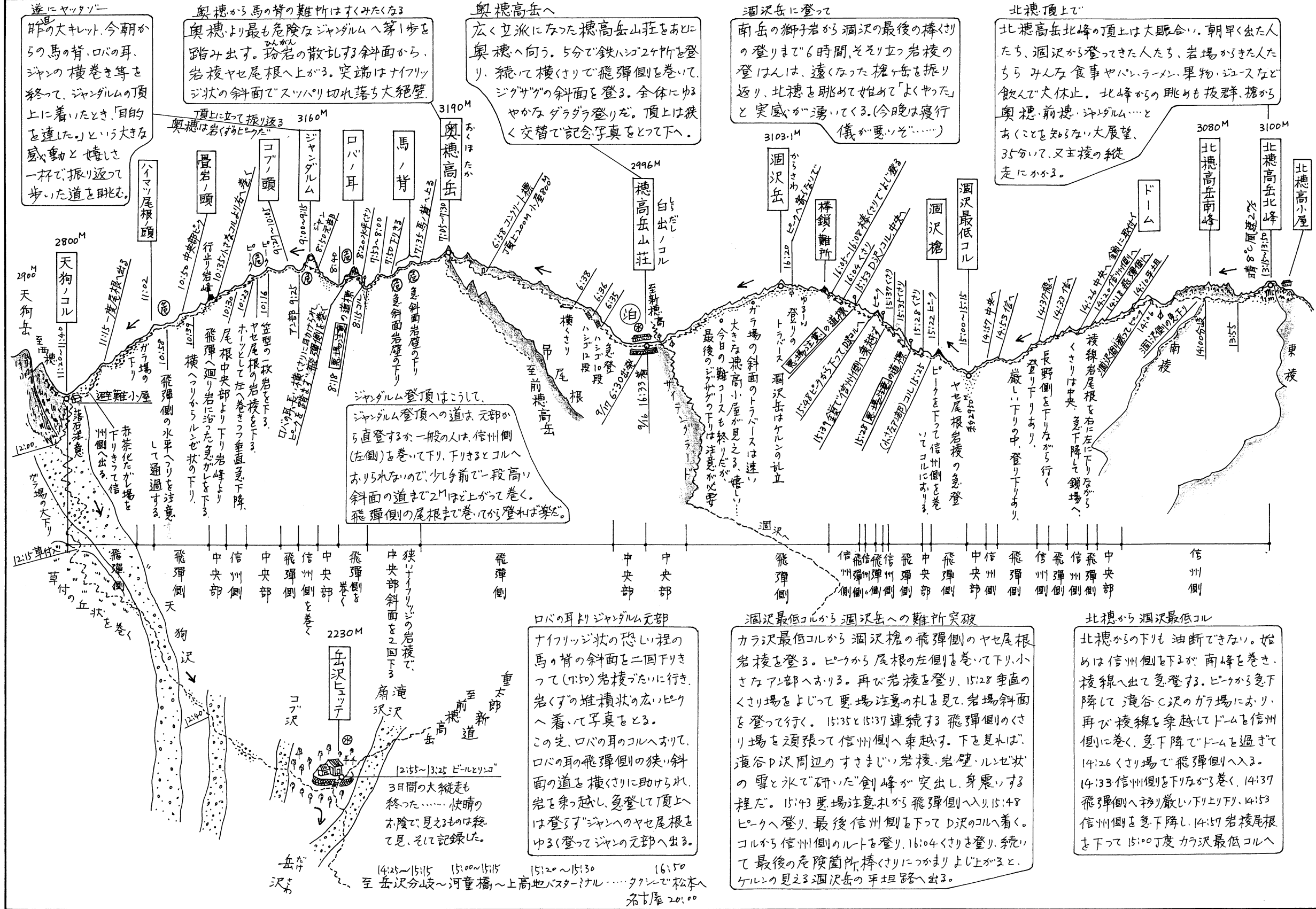


槍ヶ岳・穂高岳 (上高地～槍ヶ岳～穂高岳～南岳～北穂～奥穂～ジャンダルム～天狗のゴル縦走) 2日目 槍ヶ岳～穂高岳山荘 3日目 奥穂高岳～ジャンダルム～上高地



遂にヤッタンゾー  
昨の大キレツ。今朝からの馬の背、ロバの耳、ジャンの横巻き等を終って、ジャンダルムの頂上に着いたとき「目的を達した」という大きな感動と嬉しさ一杯で振り返って歩いた道を眺む。

奥穂から馬の背の難所はすくみたくさ  
奥穂より最も危険なジャンダルムへ第1歩を踏み出す。岩の散乱する斜面から、岩稜やセ尾根へ上がる。突端はナイフジ状の斜面でスッパリ切れ落ち大絶壁。

奥穂高岳へ  
広く立派になった穂高岳山荘をあとに奥穂へ向う。5分で鉄ハシ2ヶ所を登り、続いて横割りで飛弾側を巻いて、ジグザグの斜面を登る。全体にゆるやかなダラダラ登りだ。頂上は狭く交替で記念写真をとって下へ。

涸沢岳に登って  
南岳の獅子岩から涸沢の最後の棒割りの登りまで6時間、そそり立つ岩稜の登はんは、遠くなった槍ヶ岳も振り返り、北穂を眺めておぼろげに「よくやった」と実感が湧いてくる。(今晩は寝行儀が悪いぞ……)

北穂頂上へ  
北穂高岳北峰の頂上は大賑合。朝早く出た人たち、涸沢から登ってきた人たち、岩場から来た人たちみんな食事やパン、ラーメン、果物、ジュースなど飲んで大休止。北峰からの眺めも抜群。槍から奥穂、前穂、ジャンダルム……とおくことも知らず大展望。35分いて、又主稜の縦走にかかす。

ジャンダルム登頂はこうして、ジャンダルム登頂への道は、元部から直登する一般の人、信州側(左側)も巻いて下り、下りきるとゴルへおろされなりの、少し手前で一段高い斜面の道まで271ほど上がって巻く。飛弾側の尾根まで巻いてから登れば楽だ。

ロバの耳よりジャンダルム元部  
ナイフジ状の恐い程の馬の背の斜面を二回下りきって(11:50)岩稜づらに行き、岩くずの堆積状の広いピークへ着いて写真をとる。この先、ロバの耳のゴルへおりて、ロバの耳の飛弾側の狭い斜面の道を横割りに助けられ、岩を乗り越え、急登して頂上へは登らずジャンへのヤセ尾根をゆる登ってジャンの元部へ出る。

涸沢最低コルから涸沢岳への難所突破  
カラ沢最低コルから涸沢槍の飛弾側のヤセ尾根岩稜を登る。ピークから尾根の左側は巻いて下り、小さなアゴ部へおろす。再び岩稜を登り、15:28垂直のくさり場をよじて、要場注意札を見て、岩場斜面を登って行く。15:35と15:37連続する飛弾側のくさり場を頑張って信州側へ乗越す。下を見れば、滝谷沢周辺のすさまじい岩稜、岩壁、ルンゼ状の雪と氷で研いだ剣峰が突出し、身震いする程だ。15:43要場注意札から飛弾側へ入り、15:48ピークへ登り、最後信州側を下って沢のゴルへ着く。コルから信州側のルートも登り、16:04くさり場を登り、続いて最後の危険箇所棒割りにつかまりよじ上がると、ケルレの見える涸沢岳の平坦路へ出る。

北穂から涸沢最低コル  
北穂からの下りも油断できな。始めは信州側を下るが、南峰を巻き、稜線へ出て急登する。ピークから急下降して、滝谷沢のガラク場におり、再び稜線を乗越してドームを信州側に巻く。急下降してドームを過ぎて14:26くさり場で飛弾側へ入る。14:33信州側を下りながら巻く。14:37飛弾側へ入り、14:53信州側へ急下降し、14:57岩稜尾根を下って15:00度カラ沢最低コルへ